

平成22年 南高文化祭「南魂祭」参加 あかね会 同窓生作品展

母校の創立100周年を契機に、同窓会活動が活発になりつつあります。皆様の一層のご協力を、よろしくお願い申し上げます。



平成22年9月11・12日

都立南多摩高校 地学教室

書道

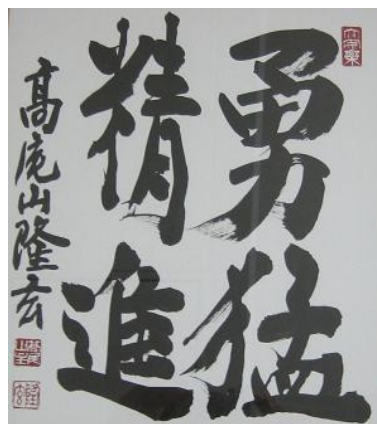
5 点

今回の作品展のために大山貫首に書いて戴きました。
「過去、現在、未来に通ずる大らかなこころ」という意味だそうです。

【筆者紹介】

氏名 大山 隆玄
昭和 2 9 年 南多摩高校卒業
昭和 3 3 年 東洋大学(史学)卒業
現在 真言宗智山派大本山
高尾山薬王院第 32 世貫首

悠々千古心



母校に寄贈された作品



月光に塗り
つぶされし
山紅葉

【作品介绍】

岡田 日郎の句

業品く
卒作覧
輩の
先生を
だ
さい

【筆者紹介】

氏名 大島 祥園 (富子)
昭和 2 5 年 南多摩高校卒業
昭和 4 7 年 二宮 瓊園先生に師事
現在 毎日書道展 会友
清和書道院 幹事



書道



【作品紹介】 百人一首より 五首



みちのくの しのぶもちずりたれゆえに

みだれそめにし われならなくに

河原左大臣

ありあけの つれなくみえしわかれより

あかつきばかり うきものはなし

壬生忠岑

やすらはで ねなましものをさよふけて

かたふくまでの 月をみるかな

赤染衛門

こぬ人を まつほのうらのゆうなぎに

やくやもしほの みもこがれつつ

権中納言定家

なつのよは まだよひながらあけぬるを

くものいつこに 月やどるらん

清原深養父

【作品紹介】 友人の還暦祝いに贈る

二〇〇〇年七月二三日

ひとはみなだれでも

ひとりでは生きていけないから

いつもすてきな友達と

この手をつないで

悲しいときももだちがいれば

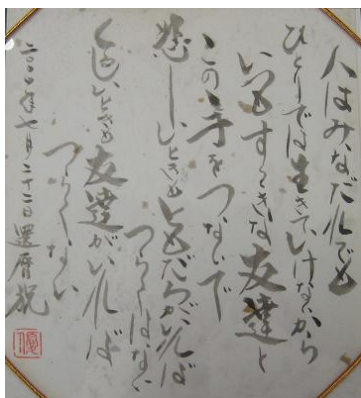
つらくはない

くるしいときも友達がいれば

つらくはない

【筆者紹介】

氏名 小川 紫節 (禎子)
昭和31年 南多摩高校卒業
昭和49年 宮崎 紫光先生に師事
現在 毎日書道展 会員
現代書道院 参与



【筆者紹介】

氏名 河西 優江
昭和34年 南多摩高校卒業
宮本 竹遥先生に師事
寒玉書道会 師範(教育部教師)を務める



絵画

4点



【作品名】「星空のティピー」



【作者紹介】

氏名 福田 ゆき

昭和34年 南多摩高校卒業
(在学中 テニス部所属)
ネイティブアメリカン居留地にある「ナバホ・コミュニティ・カレッジ」を日本人で初めて卒業

現在 アメリカで原住民の絵を描き、ナバホ族とアイヌの人々との交流、日本で個展を開催など活躍中

絵画展「ナバホの大地」2010.3.23～28 開催

【作者紹介】

氏名 原 光子

昭和25年 南多摩高校卒業
女子美術大学洋画科に進学
女子美術大学教授・後進指導

昭和61年 紺綬褒章を受章

平成14年 永眠 (71歳)

2008.6.6～7.6 原光子展～アトリエに残された風景 (八王子市夢美術館)



【作品名】「ギリシヤにて」



【作品名】
「静寂」(油絵)



「池端に」(水彩)



【筆者紹介】

氏名 河西 優江

昭和34年 南多摩高校卒業
アトリエ・フロイデンの小川華奈代先生に師事
会の展覧会に出品

2010年7月 自宅で個展を開催

陶 芸

4 点

竹 細 工



竹とんぼ
川久保 喜唯



黄瀬戸皿



染付大根皿

八月下旬の作品
展の展示品をお
借りしました



染付長皿



つわぶき飾皿

【作者紹介】

氏名 濱村 千鶴子
昭和35年 南多摩高校卒業
昭和63年 アトリエ・フロイ
デンで陶芸を学ぶ
8月 東急スクエアで作品展を開催

アクセサリー

10点



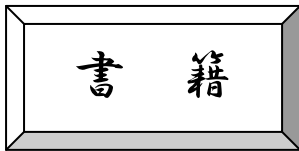
七宝焼

ガラス・フュージング



【作者紹介】

氏名 小峰 節子
昭和35年 南多摩高校卒業
昭和41年 青山デザイナー学院
等で七宝焼を学ぶ
平成元年 長谷川淑子氏に師事
その後、七宝・アクセサリー展を重ねる



1 2 点

同窓会ホームページに掲載などしています
<http://akanekai.org/>



【作品紹介】

「春の川」(2006)

大正・昭和・平成に生き、生涯日野の地を離れることのなかった作者が、波乱万丈の人生を乗り越え、詠んだ晩年の俳句 500 余首をまとめた句集

【作者紹介】中島 喜代

昭和 10 年 第四高等女学校卒業

昭和 60 年 晩年になり俳句を始める

平成 17 年 永眠 (87 歳)

【作品紹介】

「フィラデルフィアへのシルクロード」(2010)

曾祖父の創業した西川製糸から出品された生糸が、大正 15 年(1926)のフィラデルフィア万博でグランプリを獲得した歴史や、車椅子ダンスの自身の体験、第四高女の思い出をつづる

【作者紹介】西川 知恵子

昭和 23 年 第四高等女学校卒業

平成 7 年 聖心女子大学文学部卒業

【作品紹介】

「私が来た道」(2010)

作者 3 冊目の著書で、社会や家族との繋がりを含め自分史をつづる。あかね会総会、第四高等女学校の同級生との 60 年を越える友情やお付き合いの様子等を書く

【作者紹介】富岡 陽子

昭和 25 年 南多摩高校卒業

【作品紹介】

「少女が見た戦中・戦後」(2007)

戦後 60 年の節目を迎え、昨今戦争を知らない世代が多くなった。子どもの頃の忌まわしい時代も過去のものになりつつあり、戦中・戦後の窮乏の時代の記録をつづる

【作者紹介】臼井 アキ子

昭和 30 年 南多摩高校卒業

平成 8 年 東京都退職

【作品紹介】

「歌集 葉月」(2008)

「自分の歌を大事に残してゆけば、歌集を編むこともできる」と亡兄がけてくれた言葉に励まされ、同人とともに 10 年間に詠った、650 首をまとめた。会の 30 周年を記念して

【作者紹介】大塚 光代

昭和 30 年 南多摩高校卒業

キクサク短歌会 所属
大塚布見子先生に師事

【作品紹介】

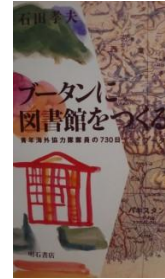
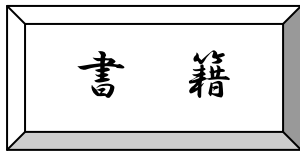
「高校雑記 三年間の思い出」(2010)

作者の高校時代の日記を、その友人がまとめた。昭和 28 年 3 月の高校入試合格の日からの 3 年間の思い出をつづる。八面六臂、縦横無尽、スーパー・スターという言葉では語りつくせぬ、破天荒な高校生の姿がよみがえる

【作者紹介】小川 末吉

(まとめ) 染谷 英夫

昭和 31 年 南多摩高校卒業



【作品紹介】

「生きることは学ぶこと」(2009)

調布市の社会教育の先駆者として活躍された加賀美さんの功績をつづる追悼集

【作者紹介】加賀美 京子

昭和 32 年 南多摩高校卒業
衛生検査技師

平成 7～19 年 調布市社会教育委員
平成 16 年 100 周年実行委員 (広報)
平成 19 年 永眠

【作品紹介】

「トコトンやさしい

生命工学の本」(2003)

遺伝子の解析などで進歩した生命工学を、医療・食品・化粧品や長寿の研究などにわたり、学生や一般人のために分かり易く解説する

【作者紹介】軽部 征夫

昭和 35 年 南多摩高校卒業
現在 東京工科大学学長
東京大学名誉教授

「ヒト・ゲノムの暗号を読む」(1998)

【作品紹介】

「ボタンに図書館をつくる」

(1993)

大学図書館職員を辞し、90 年に単身でボタンに向かい、図書館のプロとして分類整理の改善を進める。青年海外協力隊員の 2 年間を見聞録をつづる

【作者紹介】石田 孝夫

昭和 44 年 南多摩高校卒業
現在 カリタス女子短大勤務
日本図書館協会常務理事

【作品紹介】

「ま・た・ね～がん終末期の患者さまがくれた贈りもの」(2006)

ホスピス入院者を、27 歳の看護師として支え、彼らに育てられた若きナースの看取りの記録。聖路加病院名誉院長の日野原重明氏が解説を寄せる

【作者紹介】滝沢 道子

昭和 63 年 南多摩高校卒業
千葉大学看護学部看護学科卒業
ホスピス・ピースハウス病院勤務
八王子市看護専門学校 専任教員

【作品紹介】

「母校が焼けた日」私の昭和 20 年

(2001)

昭和 20 年 8 月 2 日未明の八王子空襲により焼失した母校と八王子の街を回顧して卒業氏が綴った戦災記録

【作者紹介】むらさき会

「母校が焼けた日」編集世話人

大島 富子 岡本 初子
柴田 雅子 原 光子
前田富美子

【作品紹介】

「風刻の花 一心を踊る

旗野恵美」(石川妙子写真集)(1999)

舞台芸術は、大勢の人が長い時間をかけて創りあげ、観客の眼差しを受けた瞬間に消えてゆく儚いもの (石川妙子)

【出演者紹介】旗野 恵美

昭和 26 年 南多摩高校卒業
旗野恵美創作舞踊研究所 主宰
日本大学芸術学部演劇学科 講師
2010.10.8「生々流転・闇の中の連鎖」公演(草月ホール)

あかね会会員の初めての作品展です。いかがでしたか。

南多摩高校同窓会「あかね会」?? お出でなさい!



西館 4 階 地学教室

<http://www.akanekai.org>

みんな集まれ! 毎日 50 組限定

誘い合って楽しもう!

「南高 100 周年」や母校・同窓会に関連した記念物、寄贈品等を校内で探しあて、クイズに答えて賞品(粗品)をもらちゃおう!

「創立 100 周年」クイズラリー

「こんな先輩がいたんだ!」驚き!

先輩卒業生の作品展示

書道、絵画、陶芸、アク
セサリー、書籍、その他



卒業生! 集まって!

ミニ「歌声ひろば」で歌いましょう!

両日午後 1:30 分から、約 1 時間の「歌声ひろば」を開催。指導者は 丸山久氏 (S44 年卒)

「白馬旅情」作者 8/29 (日) 朝日新聞多摩版
童謡、唱歌、フォークソング等
10 曲位をみんなで歌います
誰でも参加できます。



「あかね会」活動の展示

100 周年、HP、記念誌、
名簿、学校支援活動など

「あかね会」は南多摩高校(将来は南多摩中等教育学校)卒業生の同窓会です。卒業時に会費を納入し入会します。卒業生は約 29,000 人となり、政治経済・文化の各方面で活躍している先輩も沢山います。学校の支援、生徒の育成等に資するため「創立 100 周年基金」が「先輩に学ぶ」授業ほか、母校と後輩を応援しています。

南多摩高校同窓会「あかね会」とは...

南多摩高校同窓会「あかね会」は、高校生の皆さんが卒業すると同時に会員となることができ、その際に納められた永久会費 5,000 円で運営されています。現在、会員数は卒業生と在籍職員を含めて約 29,000 名にのぼり、そのうち住所が判明している約 2 万名が会員登録されています。

会の主な活動は 5 月に定期総会を開催、年度事業計画を決定し、卒業生には卒業証書ホルダーの寄贈、在校生には優秀な成績を収めた部活動への支援や、卒業後の進路指導への講演などを行っています。このほか会員にはホームページや広報紙を通じて情報を発信し、年に数回の常任委員会や新年会など開いて、会員相互の親睦や情報交換をはかっています。

会の歴史は南高の前身・府立第四高等女学校が創立された 3 年後の明治 44 年 11 月に、卒業生同士の親睦をはかるために設立されました。「あかね会」の名称は、昭和 33 年・南高創立 50 周年の折に、「東の空をあかね色に染める朝日をイメージし、未来に拓く若者の燃え立つ色でもある」ことから、当時の池田文雄校長により命名されました。毎年 5 月の第 3 日曜に、あかね会総会と懇親会が開催され、会員の方は誰でも参加できます。

文化祭の歌唱指導者

丸山 久 さん 略歴

昭和 44 年 都立南多摩高等学校卒業

昭和 51 年 東京藝術大学音楽学部声楽科卒業

昭和 62 年～ イタリア・ミラノに 5 回にわたり
短期留学

【主な活動】

一貫して日本の歌の音楽活動に取り組み、リ
ビング・コンサート、神戸市内のチャリテ
ィー・コンサートツアー、海上自衛隊音楽まつ
りに出演

現在、「歌いましょう多摩童謡の会」「京王八
王子童謡の会」「山の手童謡の会」の各歌唱
指導者。「東京童謡合唱団」「女声合唱団コ
ールスワン」「東京多摩童謡の会合唱団」の
各常任指揮者を務める

テノール歌手、指揮者、作曲家